



ほんだ

新発田市立本田小学校

本田小の子どもたちのよさを発信する2学期

校長 多田和幸

いつもより少し短い26日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。初日は、前夜の雷雨と曇り空で、ほんの少しだけ暑さが和らぎましたが、久しぶりの登校。途中で具合の悪くなる子がいないか心配しましたが、たくさんの宝物を抱えた子どもたちの元気な姿に嬉しくなりました。

始業式では、「2学期もコロナに負けずに、工夫して楽しさを創り出していこう」「本田小学校の子どもたちのよさを発信しよう」と話しました。2学期も引き続き、新型コロナウイルス感染症等への対応も行いながら、教育活動を進めて参ります。延期した運動会や修学旅行、閉校記念式典など、大きな行事も予定しています。子どもたちが、本田小の子どもとしての誇りと自信をもって力一杯取り組む姿を、見ていただくことができるよう力を尽くします。



適切な間隔をとって行った始業式の様子

読み聞かせの「とんとんさん」としてお馴染みの本間利枝さんは、音楽家の方々との親交も厚く、10月27日に予定している本田音楽フェスティバル（音楽家を招いてのコンサート）では、コンサートのプロデューサーとしてお世話になります。

本間さんは、音楽家に出演を依頼するとき、『今（あなたの）できる最高のものを見せてください。』とお伝えになるそうです。その依頼には、聞き手に「音楽って、こんなものか」「コンサートって、こんなものか」と思わせたくないという願い、そして、演者自身が本気になって聞き手を満足させる努力をして、演奏家としての力量を高めて成長して欲しいという願いを込めているそうです。プロデューサーの強い思いを演者に伝え、感動を生む時間を創りだしていることを、本間さんに教えていただきました。

様々な発信機会のある2学期、わたしたち教職員も、自分の力を伸ばそうと「自ら本気でねばり強く」取り組む子どもたちを、全力で支援していきます。

残暑が厳しい毎日ですが、夕方花壇の水やりをしていると、虫の声が聞こえはじめました。熱中症への心配もしばらく続きそうですが、秋の訪れも感じます。実り多き2学期にしたいと思います。

閉校記念式典、惜別の会の実施について

本田小学校閉校記念事業実行委員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を注視しながら、「閉校記念式典」「惜別の会」の実施の可否を含め、運営の内容や方法につきまして、慎重に熟議を重ねてまいりました。子どもの学舎として、また地域コミュニティの中核として、地域とともに歩んできた本田小学校を回顧し、新たな門出を祝う会となるよう、実行委員が一丸となって、運営準備を整えてまいりましたが、感染症拡大防止の観点から、両会の実施につきまして、次のように判断いたしました。

1. 「閉校記念式典」は、感染症対策を講じ、人数制限を設けて、実施します。

期 日 令和2年10月11日（日）

式 場 本田小学校体育館 10時～11時

※式典の参加対象になる方々には、すでにご案内の文書をお届けしてあります。式典開会に先立って、記念碑の除幕式を行います。記念碑は、本田小学校プロムナード中央に設置します。

2. 「惜別の会」は、今年度（令和3年3月まで）は、実施しません。

次年度（令和3年4月）以降、感染症の状況に鑑み、可能であれば、地域の有志による実施を検討します。

不審者対応の避難訓練を実施しました

9月7日に、新発田警察署員さんや駐在員さん、スクールサポーターの協力をいただき、不審者の侵入を想定した避難訓練を実施しました。不審者が侵入した場合の、職員の対応の仕方をはじめ、緊急事態を全校に周知する方法や安全な避難の仕方について学びました。暑い中でも、子どもたちは真剣に訓練に参加し、警察署員さんのお話をよく聞くことができました。



あいさつ運動をしています

2学期のスタートにあたり、各学級では「気持ちのよいあいさつ」をするためのめあてを立て、あいさつ運動に取り組んでいます。また、PTAの皆様には、朝、通学路に立っていただき、子どもに温かい声かけをいただいております。あいさつをする事の心地よさを、お互いが感じ合うことのできる機会にしたいと思います。